

2024年3月1日  
発行/日本共産党市議団地域版  
自宅/市川市須和田2-12-3  
fax 047-303-3025  
携帯 090-6310-3294  
メールアドレス  
shimizu@jcp-ichikawa.com  
ブログ・清水みな子を検索



日本共産党市川市議会議員

# 清水みな子

あおぞらメール

No.160

## 皆さんの要望が新年度予算に 補聴器購入、帯状疱疹ワクチン助成など

2月予算議会が始まりました。市議団は市民アンケートに寄せられた要望などを基に、毎年予算要望をしています。来年度予算に盛り込まれた事業もあり、紹介します。しかし、介護保険料などが引き上げられます。

●高齢者への支援  
・ゴールドシニア事業  
「チケット75」は継続  
(対象は1万5千人に拡大)  
(前回、抽選に漏れた方は、3月までにお手元に届きます)

・新たに「チャレンジ75」  
として、初めてスマホを購入する方に購入費用の2分の1(上限2万5千円)スマホ購入費補助、スマホ講座を実施

●高齢者補聴器購入補助  
(対象は、65歳以上で、医師からの証明を受けている、非課税世帯の方で、3万円補助)

●子育て支援の充実  
・子育て世帯同居・近居  
スタート応援補助金(対象は就学前の子と同居する子育て世帯。親世帯と同居または近居で住宅建設費に10万円。市外から

の転居で10万円を加算。再生可能エネルギー住宅と認証される場合は10万円を加算)

●ひとりの親家庭支援  
・子どもの大学等受験料  
模擬試験費用の補助  
・養育費確保支援事業費  
補助金(公正証書等作成に要した経費等を補助する。親子交流支援)

●保健衛生の向上  
・帯状疱疹ワクチン接種  
費用の一部助成(対象は50歳以上の方、生ワクチン1回上限3千円、不活性ワクチン2回まで、1回あたり上限7千円)

・AED整備事業(コンビニなど約180店舗に設置)

・若年がん患者在宅療養支援(40歳未満のがん患者。訪問介護、訪問入浴介護、福祉用具の貸与及び購入 月5万4千円を上限)

### ●教育環境の充実

・学校給食食物アレルギー対応補助(お弁当持参の児童生徒の保護者に経費の一部を補助)

・子どもの居場所づくり  
事業(放課後子ども教室をすべての小学校で開室。事前登録し、開校日は放課後午後5時、休校日は午前8時午後5時まで空き教室を利用して、学習の支援や体験学習などを実施)

・小学校の建て替え(宮田小学校1令和8年度着工、11年度に共用開始)

・小学校校舎整備(児童が急増する大洲小学校の校庭に鉄骨2階建ての教室棟を整備、令和7年度)



### ▼介護保険料見直し

介護保険料が3年に1度の見直しで、標準保険料が引き上げられる条例が提案されました。低所得者に配慮した見直しとされていますが、物価高騰が続く、国保税も後期高齢者医療費も値上げ、すべての階層で値上げです。反対します。

# 岐阜市・高山市を視察

市川市内でも大雪が降った2月5日・6日と、岐阜県高山市と岐阜市に視察に行ってきました。

5日の高山市は、大雪。議会改革の取り組みについて、6日は岐阜市で、



リノベーションまちづくりについて、伺いました。

早稲田大学マニフェスト

ト研究所が、議会の情報

共有、住民参加、機能強

化などを調査し、議会改

革度をランキングで毎年

発表しています。高山市の議会改革度は2014年度、全国で4番目となっています。

対応してくれたのは、

倉田博之議運委員長です。

高山市は議会基本条例を

2011年に制定する過程で、

2年間をかけて、市民との意見交換会、政

策討論会、委員会による

政策提言など試行しながら

すすめ、制定したこと

などが話されました。し

かし、市川市にはない議

会基本条例です。いま、

議会改革検討委員会を作り

検討を始めており、参

## 楽しく「新春のつどい」2か所で開きました



清水地域の「新春のつどい」は、1月20日、西部地域後援会が午前に総会（活動方針と役員選出）、午後つどい、2月4日、市川真間、菅野須和田地域のつどいが開かれました。初参加の方もいました。私からは、市政報告と、この間要望したことが実現して、地域の皆さんに喜ばれている事例をいくつか上げ、声をあげることが大事であることを強調しました。浅野ふみ子県議も参加しあいさつ。もっと県議会を身近なものにしていかなければと感じました。

◎3月12日（火）  
担当 土居太郎弁護士  
◎4月9日（火）  
担当 井出樹希弁護士  
午後2時から5時まで  
相談時間はひとり30分。  
予約は清水又は控室まで

### 無料法律相談



市議団では、とくだけ議員からの提案で市川市動植物園を見学。散歩中のアルパカとパチリ。

### 市立動植物園を見学

岐阜市では、以前賑わっていた柳ヶ瀬地区をリノベーションして賑わいのあるまちを作っている。行政と民間で取り組んでいる経過を、官民連携まちづくり課の河合課長から伺いました。

### 《主な活動報告 1、2月》

#### ☆1月7日 20歳のつどい

今年の「20歳のつどい」は、午前と午後と2回。前回、入場できない方が出たためです。市議団と浅野県議、青年も一緒に「おめでとう」宣伝を行いました。



#### ☆1月28日 第63回市川市母親大会

オープニングは、障がいのある方たちが歌い踊るチャレンジド・ミュージカルで活躍するメンバーが3月公演をアピール。講演とフリートークは、「どうする 私たちの食」と題して、船橋市農業委員をしている齋藤教子さん。



日本の農家は、時給換算したら10円だとか。まったく信じられない、政府の農業政策には怒りがわきます。

最後に、各団体からの訴えがあり、「いま私たちは」を全員で合唱しました。

#### ☆2月12日 第50回千葉県自治体学校



「住み続けられるまちづくり」分科会に参加。まず、自治体問題研究所理事長の中山徹さんが「今こそ自治と公共性の再生を」と題して講演。「自治体のデジタル化は、医療、福祉などを民間に委ねること。図書館司書や給食調理員は7割、保育士は6割など会計年度任用職員の数が増えている。今こそ地方自治を取り返さないといけない」と強調されました。